佐土原町文化財調査報告書第11集

佐土原町内遺跡 I

1998. 3

宮崎県宮崎郡佐土原町教育委員会

序

佐土原町は、宮崎市の北側に隣接しており近年大規模な諸開発が推し進められています。佐土原町教育委員会では、諸開発と文化財保護事業が共存できるように平成元年度から平成２年度まで佐土原町遺跡詳細分布調査を実施し、その中で遺跡分布地図を作成しました。開発事業の際は、この分布図に基づいて事前に試掘・確認調査を行い遺跡の保存に努めてまいりました。さらに平成７年度から平成９年度にかけて町内遺跡発掘調査を実施いたしました。その中で伊賀給遺跡は、南九州で初めて弥生時代後期水田が小区画で、また砂丘地帯としては全国で初めて確認され今後の水田の調査研究にとって貴重な資料となりました。

本書は、佐土原町教育委員会が平成８年度・平成９年度に実施した町内の試掘・確認調査の報告であります。本書が埋蔵文化財に対する理解と認識を深める一助となることを期待します。

最後に、調査に御協力を頂いた諸関係機関や地権者の方々に深く感謝申し上げます。

平成10年３月

佐土原町教育委員会

教育長　小　野　　勝

例　言

1．本書は、佐土原町教育委員会が文化庁・宮崎県教育委員会の補助を受けて実施した町内遺跡発掘調査の報告書である。

2．調査は下記の体制でおこなった。

平成８年度

調査主体	佐土原町教育委員会	教　育　長	小野　勝
		社会教育課長	久枝　六郎
		同課長補佐	新名　賢次
	庶　務	係　長	東　浩一郎
	〃	臨時職員	後藤　啓子
	調査担当	主任主事	木村　明史
	佐土原町跡歴史資料館館長		赤木　達也
	調査補助員		櫛間　史朗
整理員			

平成９年度

調査主体	佐土原町教育委員会	教　育　長	小野　勝
		社会教育課長	久枝　六郎
		同　課長補佐	新名　賢次
	庶　務	係　長	東　浩一郎
	〃	主任主事	黒木　直英
	〃	臨時職員	後藤　啓子
	調査担当	主　査	木村　明史
	佐土原町跡歴史資料館館長		赤木　達也
	調査補助員		櫛間　史朗
整理員			

土器の色調は、農林省農林水産省技術会事務局監修の標準土色帖による。

3．出土遺跡は、佐土原町教育委員会（佐土原町出土文化財管理センター）で保管している。

4．本書の編集は、木村明史主査が行った。

目　次

Ⅰ　はじめに …… 1
1　佐土原町の環境
2　調査の目的

Ⅱ　確認調査 …… 3
1　二月田第二遺跡 …… 3
2　伊賀給遺跡 …… 9
3　尾曲遺跡 …… 19
4　町道テクノリサーチパーク …… 25

挿図目次

第１図　二月田第二遺跡調査区図 …… 3
第２図　伊賀給遺跡調査区図 …… 9
第３図　尾曲遺跡調査区図 …… 19
第４図　町道テクノリサーチパーク調査区図 …… 25

図版目次

図版１　平成８・９年度町内遺跡発掘調査地 …… 2
図版２　二月田第二遺跡　全景写真 …… 4
図版３　〃　遺構写真 …… 5
図版４　〃　遺物写真・遺物実測図 …… 6
図版５　〃　遺構図 …… 7
図版６　〃　〃 …… 8
図版７　伊賀給遺跡　全景写真 …… 10
図版８　〃　遺構写真 …… 11
図版９　〃　遺物写真 …… 12
図版10　〃　遺物実測図 …… 13
図版11　〃　遺構図 …… 14
図版12　〃　〃 …… 15
図版13　〃　土層図 …… 16
図版14　〃　〃 …… 17
図版15　〃　〃 …… 18
図版16　尾曲遺跡　全景写真・遺構写真 …… 20
図版17　〃　遺構図 …… 21
図版18　〃　土層図 …… 22
図版19　〃　〃 …… 23
図版20　〃　〃 …… 24
図版21　テクノリサーチパーク　全景写真・遺構写真 …… 26
図版22　〃　遺構写真 …… 27
図版23　〃　遺構図 …… 28

Ⅰ　はじめに

1　佐土原町の環境

佐土原町は、北緯32度１分・東経131度28分に位置し、気候は年平均気温17度・年雨量2000以上で太平洋を東側に面し一年間を通して温暖な環境に属している。地形の特徴は、西側に西都市から続く都於郡・仲間原台地、船野台地、年居台地、町内中央と一ツ瀬川低地に沿って佐土原丘陵、鹿野田・上田島丘陵、日向灘と一ツ瀬川に囲まれた川・海岸低地に形成されている。台地は、火山堆積物といてアワオコシ（AW）・イワオコシ（IW）・第三オレンジ（Or３）・阿蘇４火砕流堆積物（Aso-4)が堆積される。時代は、縄文時代から旧石器時代前期の間である。従って、主に先史時代の遺跡で占められる。特に船野台地には、旧石器時代後期に相当する船野遺跡から細石器文化を代表する船野型細石核が発掘されている。丘陵は、入戸火砕流堆積物により大半が築かれており縄文時代後期以降の遺跡が残っている。佐土原丘陵北西に縄文草創期の集落、中世末期から近世初期の寺院（隠山遺跡）、奈良・平安時代の窯業（下村窯跡群）、中世の城郭（古城）、近世の窯業（苗代川焼物稽古所跡）・宝塔山をとりまく墓石群、寺院（大光寺・高月院・崇称寺・吉祥寺・松巌寺・誓念寺・多楽院）、南東に弥生時代の集落や貝塚（下那珂遺跡）、中世城郭（諏訪城・嶺ケ城）・古墳時代の横穴（県指定広瀬村古墳群）、 鹿野田・上田島丘陵は、丘陵中央に先史時代から近世にかけての周知の遺跡が多く点在する。丘陵南東南西周辺部には、古墳時代の横穴（県指定佐土原村古墳群）、中近世の城郭（内城・佐土原城跡）が造られている。また近年、西側周辺部は東九州自動車道建設工事に伴う発掘調査が進められ幾つかの成果があがっている。佐土原村古墳周辺遺跡は、丘陵谷間平坦部から平安時代以降の畠跡で奈良・平安期の土師器・須恵器が出土。山内・桜原・西ケ迫・黒貫遺跡は、都於郡・仲間原台地の中央付近に位置する。出土遺構は、縄文時代早期の炉穴等が65基以上検出され九州内においても例のない多さである。出土物は、貝殻円筒土器・無文土器等である。長原遺跡は、台地の東西の舌状に伸びる根幹部に立地し、後期旧石器時代の礫群が７基検出されている。遺物は、ナイフ形石器、剥片尖頭器、スクレイパー、敲石、磨石、台石、剥片、畦原型細石核、細石刃等が出土している。上ノ迫遺跡は、台地の緑辺部にあり土坑６基、陥し穴状遺構１基、集石遺跡２基が検出された。下屋敷遺跡は、台地上に広がり後期旧石器時代の礫群が33基以上検出された。遺物は、ナイフ形石器、剥片尖頭器、三稜尖頭器、スクレイパー、石核、剥片、敲石、磨石等が出土している。また縄文早期の集石が３基検出され遺物は、打製石鏃、局部磨製石斧、剥片、押型文土器、無文土器等の出土があった。梅ケ島遺跡は、台地と台地の間に位置し、近くに新宮川が流れている。遺構として小区画の水田が微高地から低地に下る傾斜を利用して棚田状に１区設けられていた。遺物は、平安時代の布目痕土器・16世紀の輸入陶磁器片が多数出土した。海岸低地の伊賀給遺跡では、平成９年度の６月から10月に発掘調査を実施して弥生時代後期から中世にかけての小区画51枚総面積350㎡の水田で、遺物は弥生土器片・土師器片等が発見された。

2　調査の目的

佐土原町は、近年各種の開発が増加傾向にある。内容は、公共事業については、東九州自動車道関連の道路・テクノリサーチパーク関連の道路・上水道貯水施設・宝塔山公園整備・農業関連事業、民間事業は、ゴルフ場建設・送電線鉄塔建設・宅地造成等が実施されている。従って、開発事業に円滑に対応するため事前に埋蔵文化財の確認及び試掘調査を進めた。

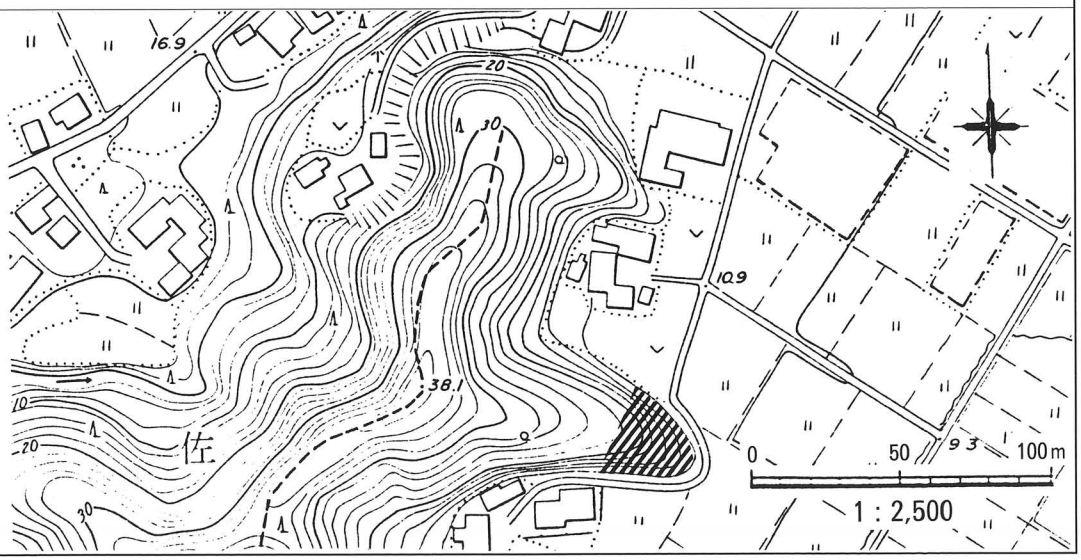
図版１　平成８・９年度町内遺跡発掘調査地

平成８年度埋蔵文化財発掘調査

市町村	佐土原町	調査主体	佐土原町教育委員会	調査担当者	木村明史・櫛間史朗
遺跡名	二月田第二遺跡		所在地	佐土原町大字上田島	
調査原因	農村総合整備モデル事業		調査面積	約100㎡	
調査期間	平成８年８月		調査後の処理	消滅	
遺跡の種別	経塚		遺跡の主な時代	近世	

検出遺構	集石遺構２基
出土遺物	第１集石　陶器製の壺片
特記事項	丘陵先端部東側のところから集石遺構２基が検出された。 第１集石の底の中央部から陶器製の壺片が出土。両集石は、形態から近世以降の礫石経塚と推察できる。

調査地



北方向より

第１・第２集石

図版２　二月田第二遺跡　全景写真

第 1 集石

第 2 集石

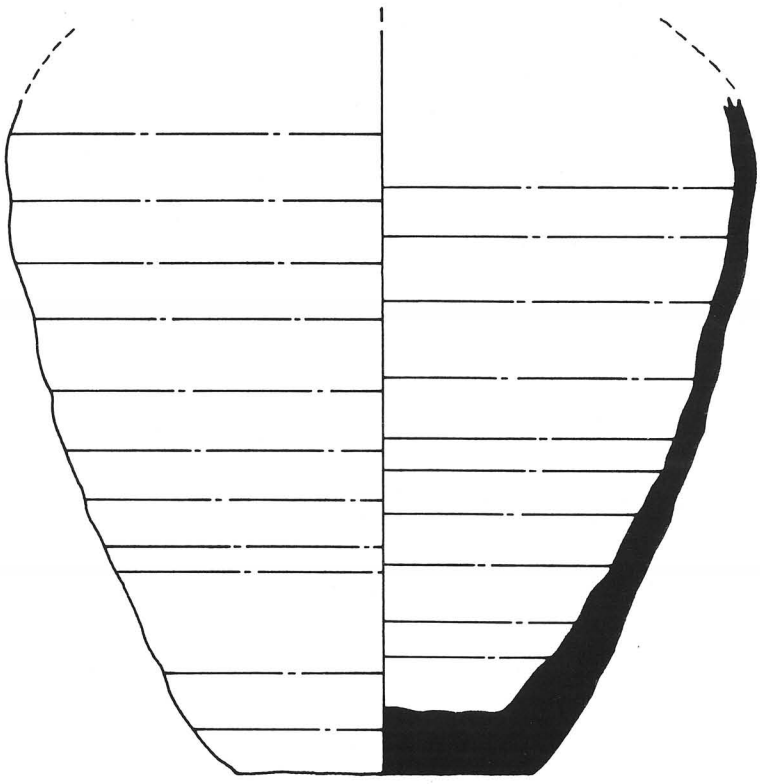
第 3 集石

遺物出土状況（第 1 集石）

図版 3　二月田第二遺跡　遺構写真

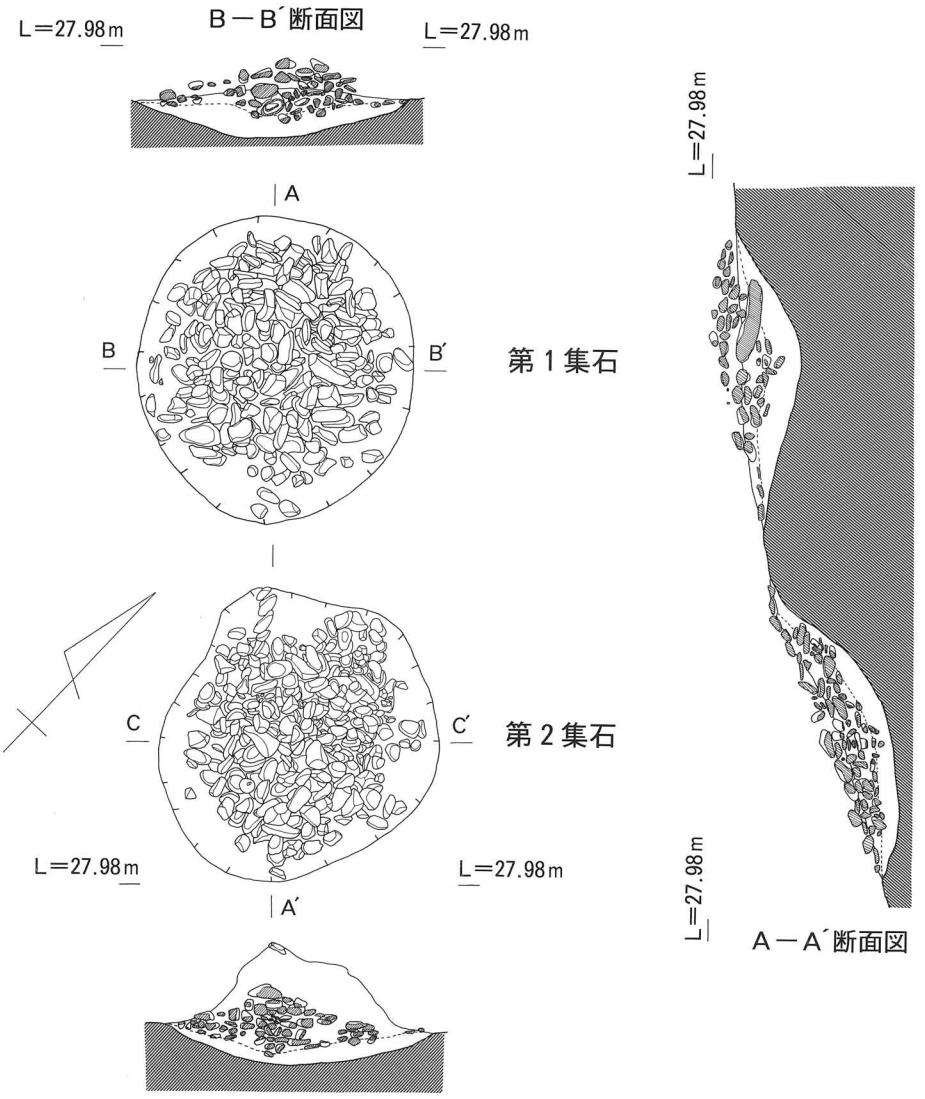
1

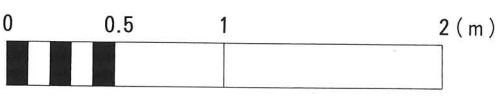
1



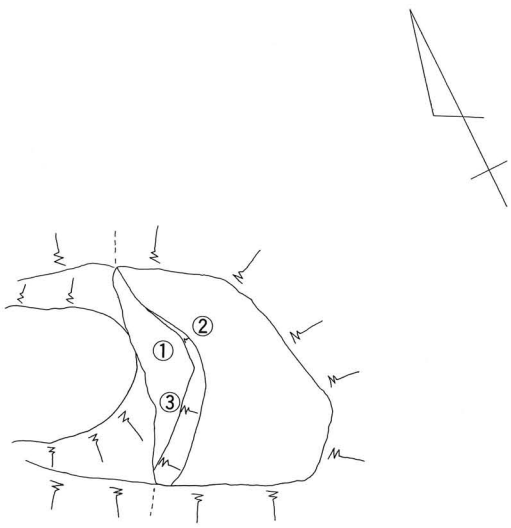
0　5　10（cm）

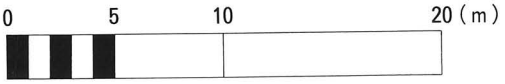
図版 4　二月田第二遺跡　遺物写真・遺物実測図

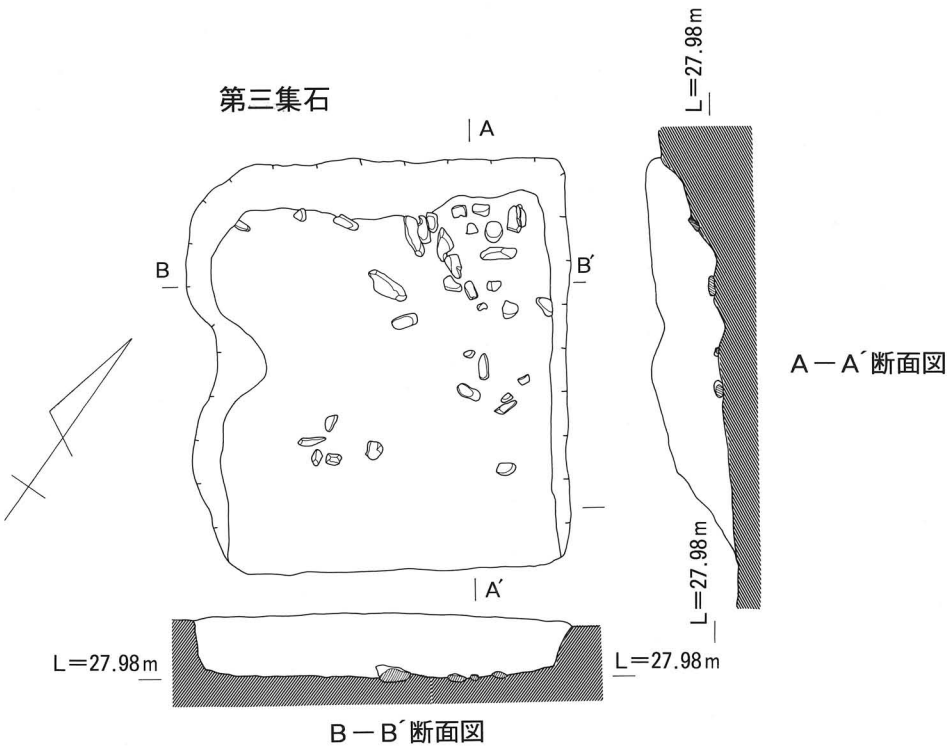


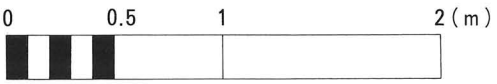


図版5　二月田第二遺跡　遺構図









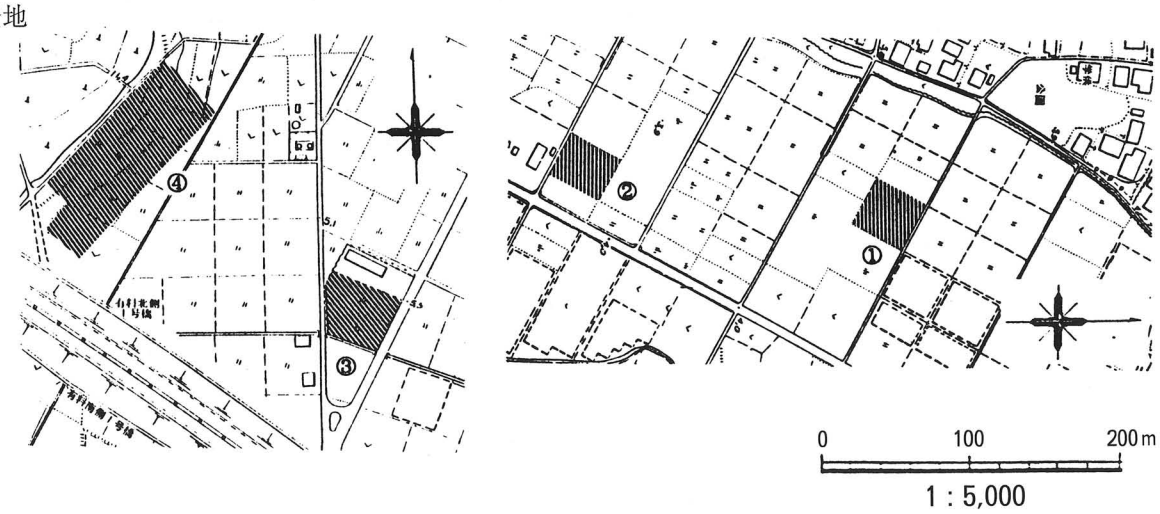
図版 6　二月田第二遺跡　遺構図

平成８年度埋蔵文化財発掘調査

市町村	佐土原町	調査主体	佐土原町教育委員会	調査担当者	木村明史・櫛間史朗
遺跡名	伊賀給遺跡		所在地	佐土原町大字下田島（前牟田地区）	
調査原因	シーサイドさどわら宅地造成事業		調査面積	約8,000㎡（トレンチ面積393.5㎡）	
調査期間	平成８年９月２日～10月２日		調査後の処理	埋土	
遺跡の種別	水田		遺跡の主な時代	中世・近世	

検出遺構	１地区　溝状遺構 ４地区　溝状遺構
出土遺物	１地区　須恵器　７点 ２地区　土錘　　１点 ４地区　土器片　１点
特記事項	１地区のトレンチＡ・Ｂから７個の土器片が出土し、トレンチＣには、自然堆積層が検出された。周辺に小規模集落があると推測される。４地区には、トレンチＡ・Ｂから生活面に溝状遺構が検出された。溝状遺構部分には、粘土ブロックが含まれていた。厚さ20㎝程の粘土状の層が遺構より両側から検出された。（客土）トレンチＡ・Ｂから軽石と１㎠に５～10％ガラス質を含む火山灰ではないかと思われる層を検出した。トレンチＡの遺構（生活面）の上から木片が検出された。従って中世期の水田耕作に伴う排水等の施設関係の遺構の可能性がある。

調査地



1地区（西方向より）

2地区（東方向より）

3地区（西方向より）

4地区（西方向より）

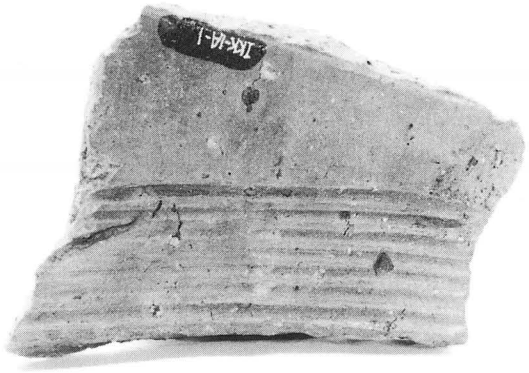
図版7　伊賀給遺跡　全景写真

1地区・トレンチA（溝状遺構）

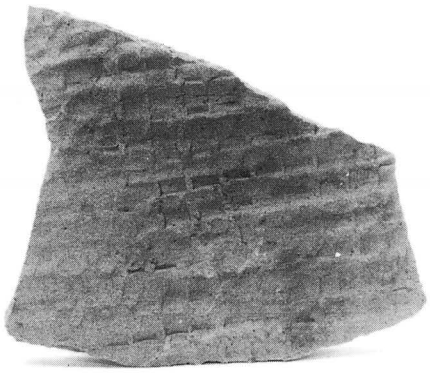
4地区・トレンチA（木材出土状況）

図版8　伊賀給遺跡　遺構写真

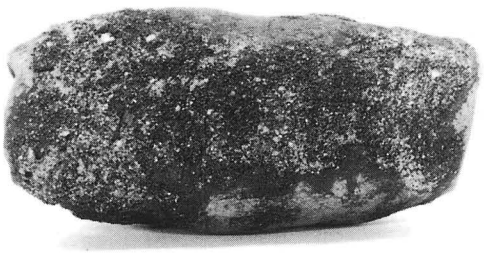
1



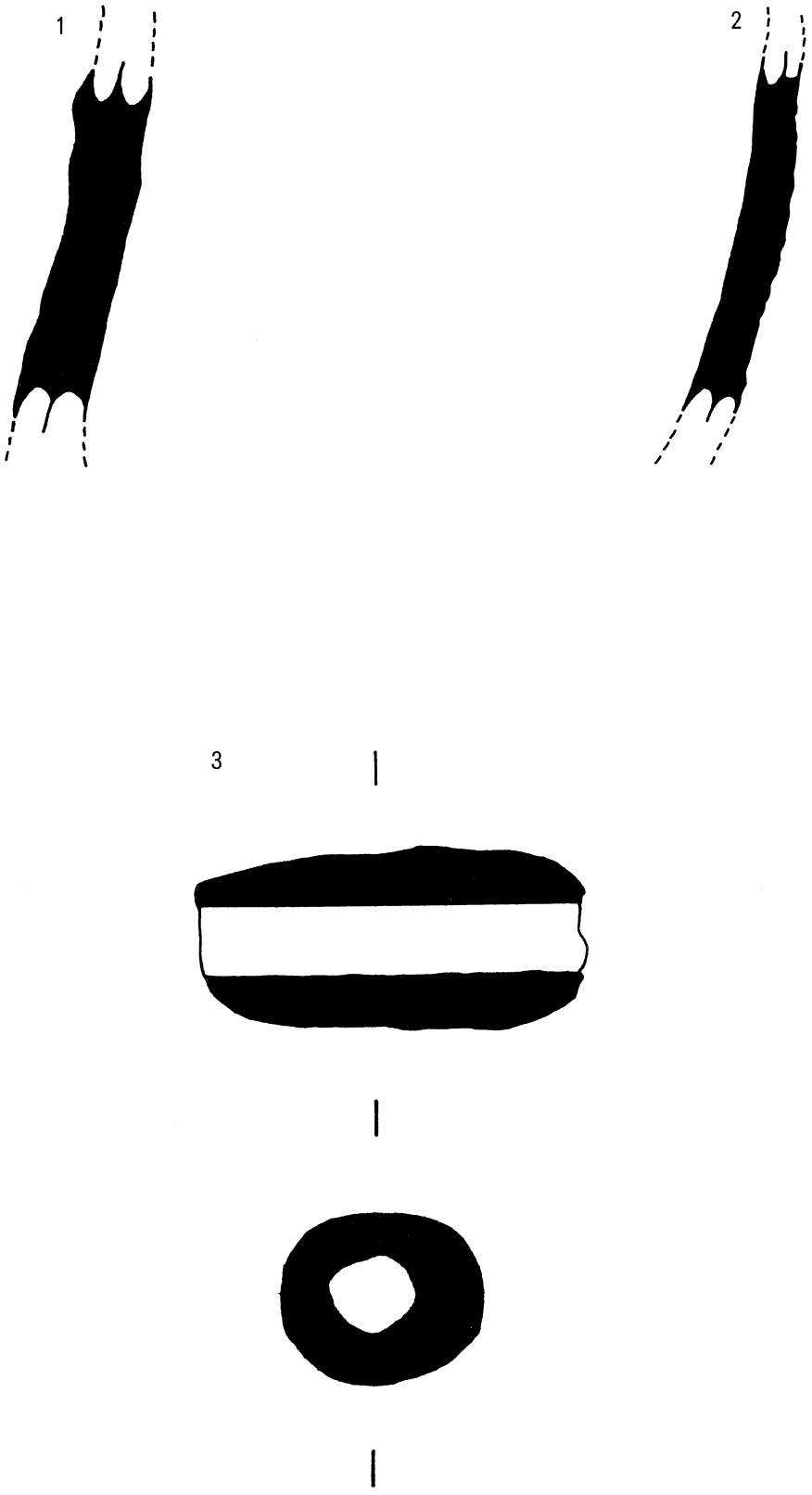
2



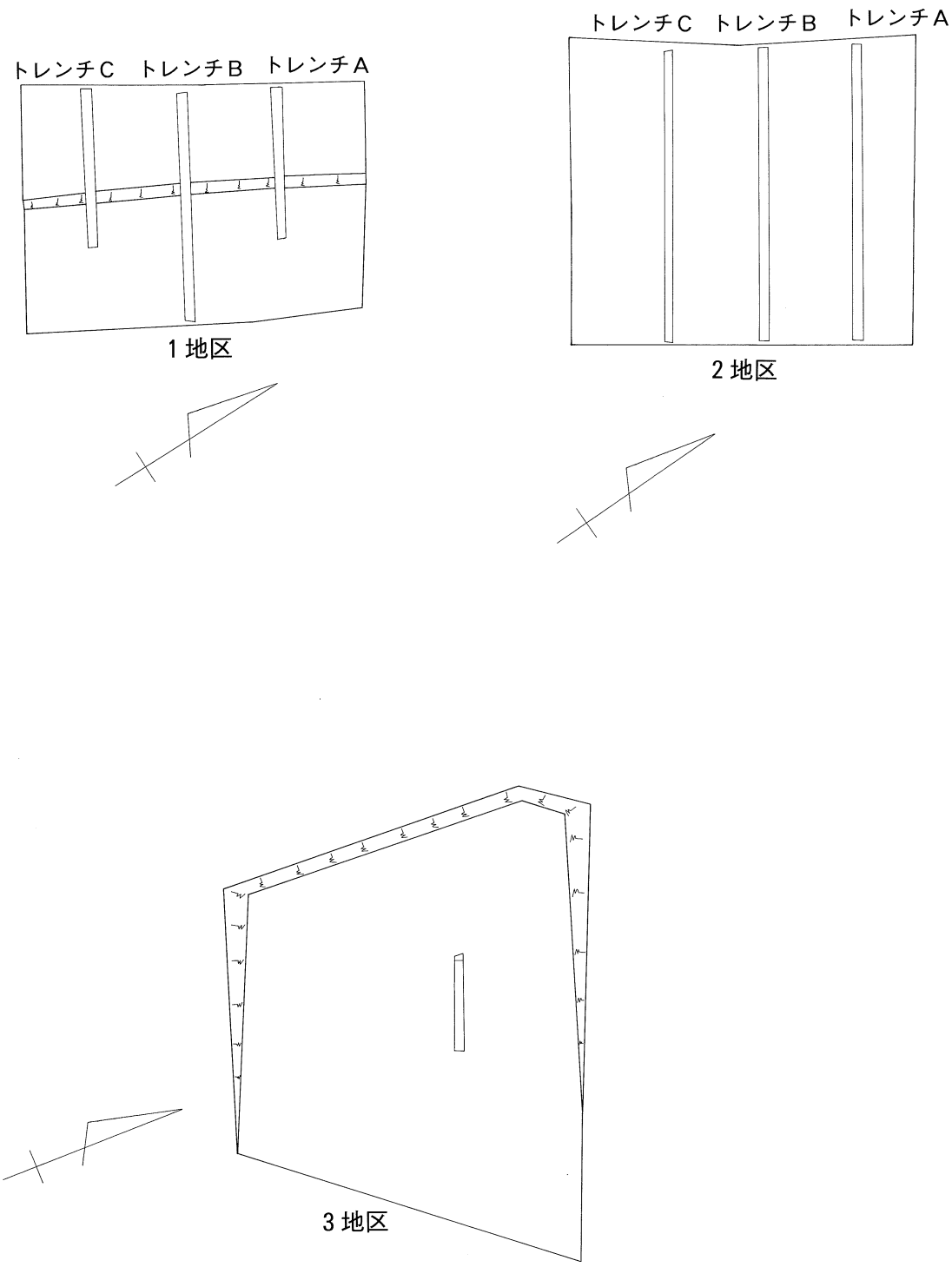
3



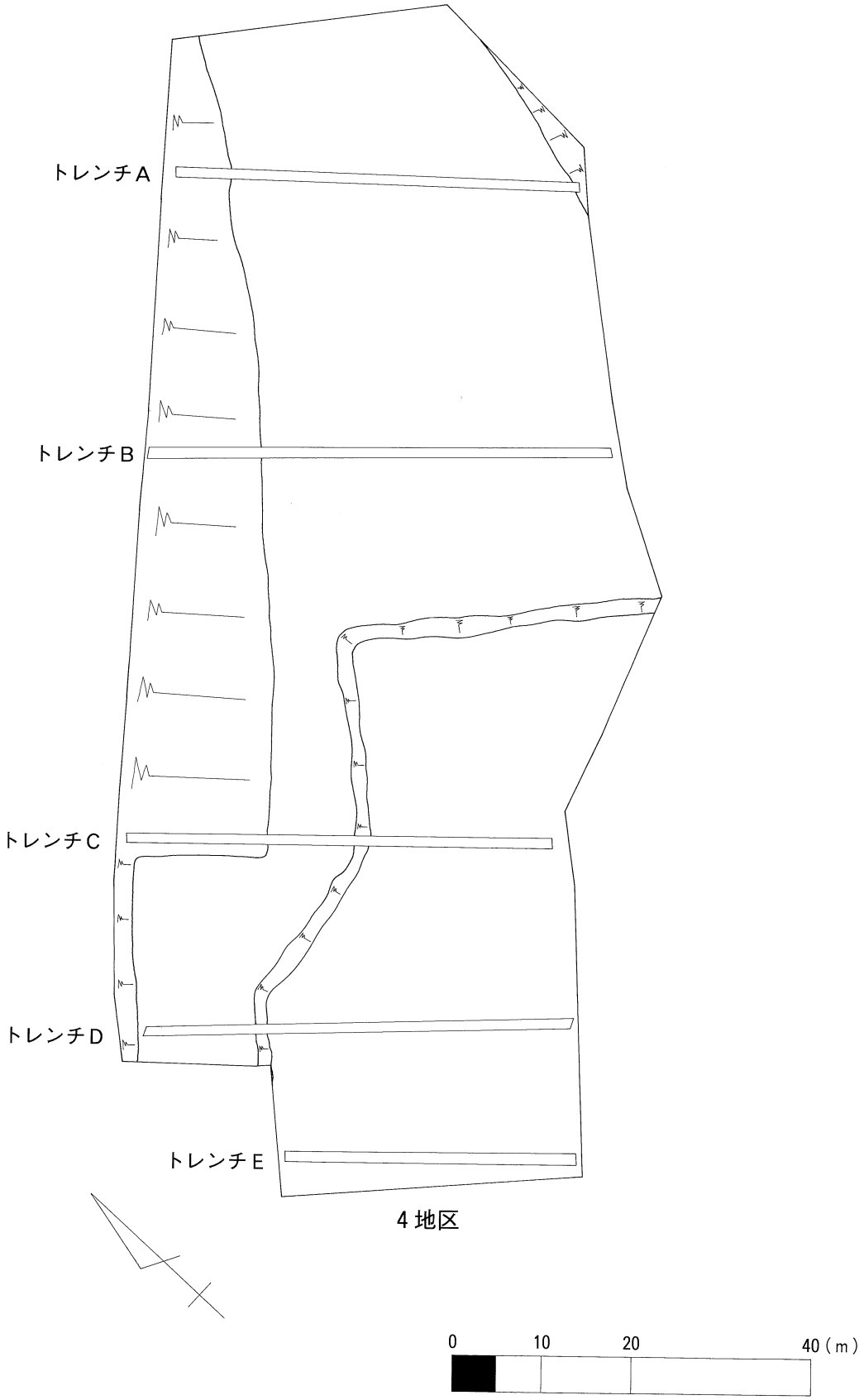
図版９　伊賀給遺跡　遺物写真（１．須恵器　２．須恵器　３．土錘）



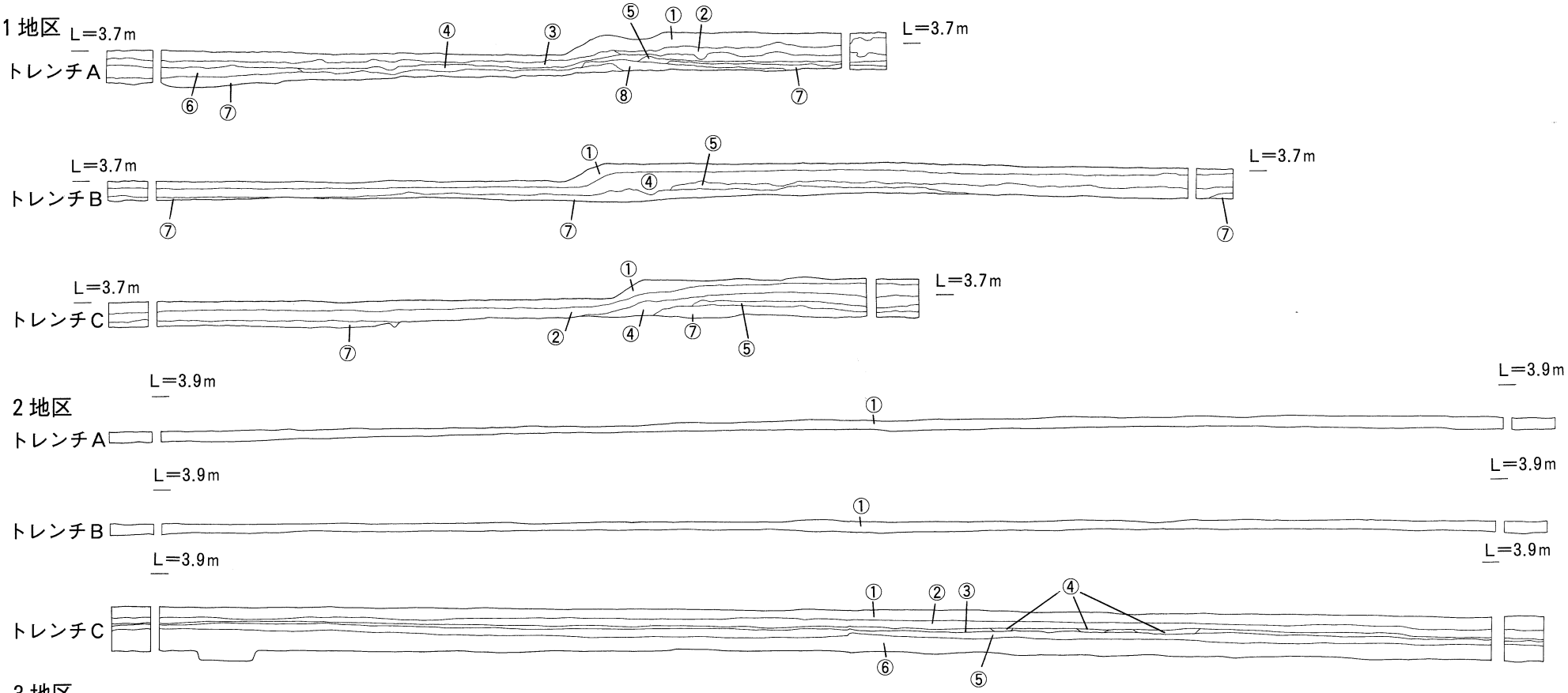
図版10　伊賀給遺跡　遺物実測図



図版11　伊賀給遺跡　遺構図



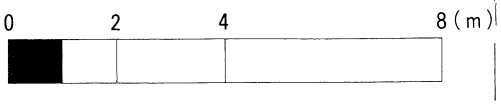
図版12　伊賀給遺跡　遺構図



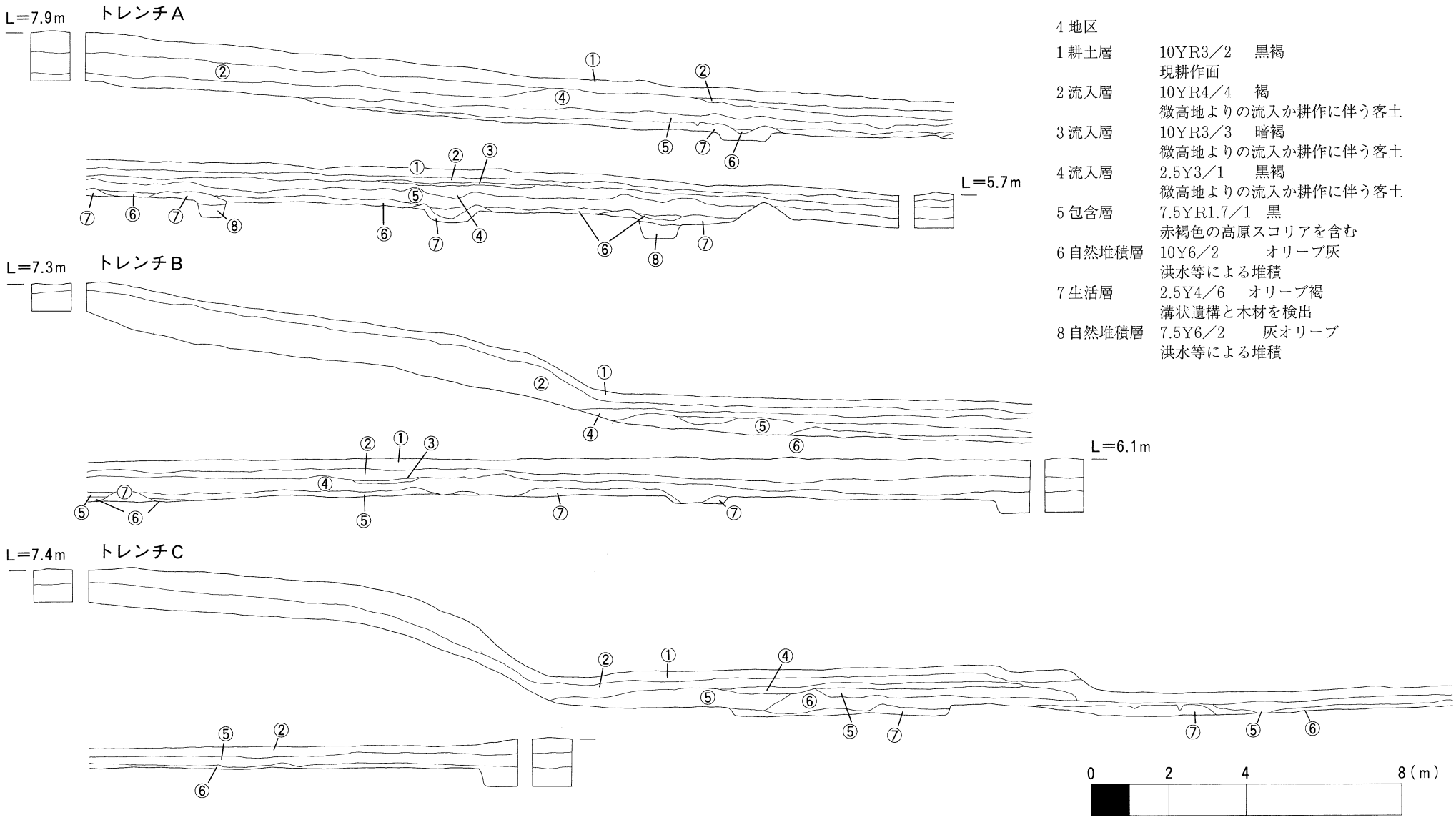
1地区	1耕土層	2.5YR8／2	灰白	現耕作面
	2自然堆積層	10YR4／6	褐	微高地よりの流入および洪水による堆積
	3自然堆積層	10YR3／3	暗褐	微高地よりの流入および洪水による堆積
	4自然堆積層	7.5Y7／3	浅黄	微高地よりの流入および洪水による堆積
	5自然堆積層	7.5Y8／1	灰白	微高地よりの流入および洪水による堆積
	6包含層	10YR2／3	黒褐	シルト質の遺物包含層
	7生活面	10YR5／8	黄褐	生活基盤面
	8自然堆積層	10Y6／1	灰	微高地よりの流入および洪水による堆積

2地区	1耕土層	2.5Y3／2	黒褐	現耕作面
	2自然堆積層	10YR5／6	黄褐	洪水等による堆積
	3腐植土層	10YR2／3	黒褐	田畑として使用
	4火山灰層	10Y8／1	灰白	灰白色シルト質の火山灰層
	5腐植土層	10YR2／1	黒	田畑として使用
	6自然堆積層	10Y5／1	灰	砂質の層で赤褐色斑点と粘土質ブロック混入

3地区	1人工堆積層	2.5Y3／3	暗オリーブ褐	5～10cmの礫・粘土を1㎡／20%含む
	2人工堆積層	10YR6／1	明黄褐	5～10cmの礫・粘土を1㎡／20%含む
	3人工堆積層	10YR5／8	黄褐	5～10cmの礫・粘土を1㎡／20%含む
	4客土層	7.5Y6／2	灰オリーブ	1～5cmの礫を1㎡／5%含む
	5客土層	10Y5／1	灰	1～5cmの礫を1㎡／5%含む
	6腐植土層	5Y2／2	オリーブ黒	田畑として使用



図版13　伊賀給遺跡　土層図

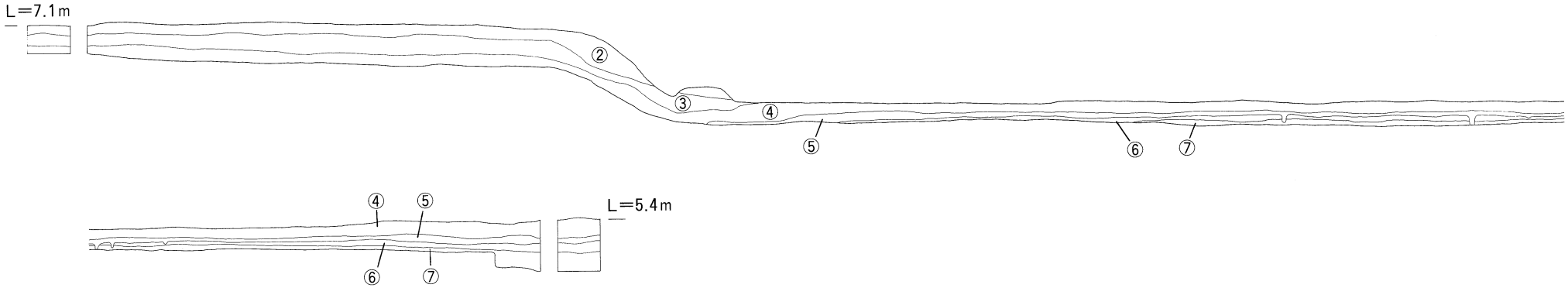


4地区

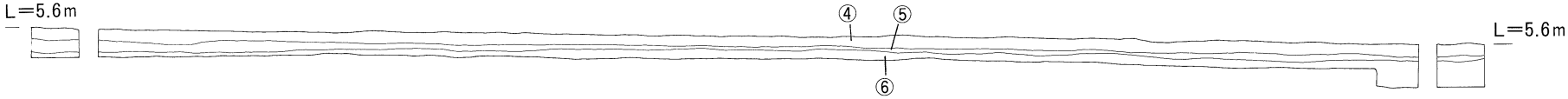
1耕土層	10YR3／2	黒褐
	現耕作面	
2流入層	10YR4／4	褐
	微高地よりの流入か耕作に伴う客土	
3流入層	10YR3／3	暗褐
	微高地よりの流入か耕作に伴う客土	
4流入層	2.5Y3／1	黒褐
	微高地よりの流入か耕作に伴う客土	
5包含層	7.5YR1.7／1	黒
	赤褐色の高原スコリアを含む	
6自然堆積層	10Y6／2	オリーブ灰
	洪水等による堆積	
7生活層	2.5Y4／6	オリーブ褐
	溝状遺構と木材を検出	
8自然堆積層	7.5Y6／2	灰オリーブ
	洪水等による堆積	

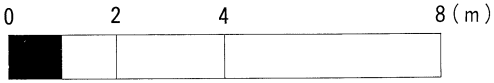
図版14　伊賀給遺跡　土層図

トレンチD



トレンチE





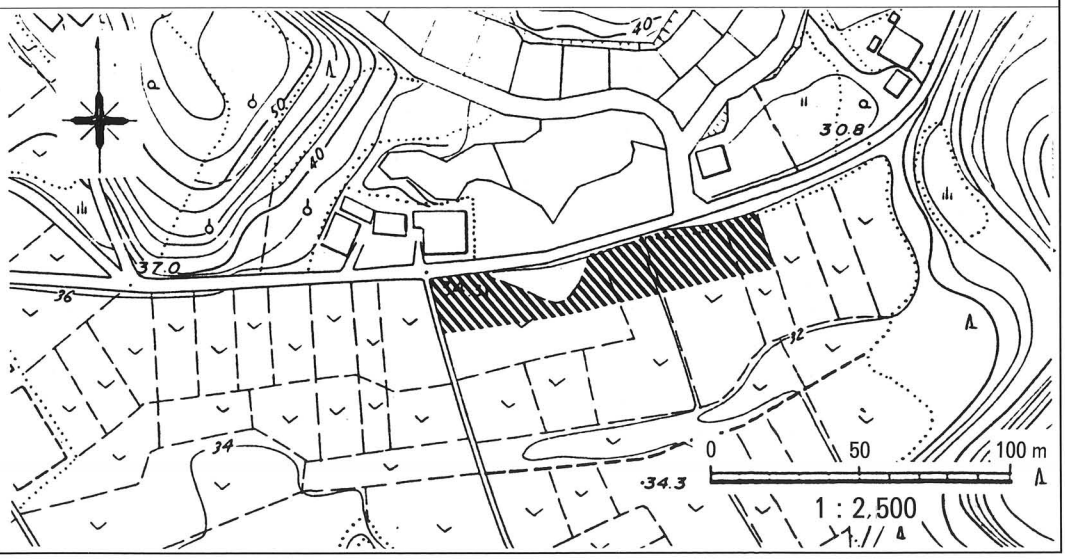
図版15　伊賀給遺跡　土層図

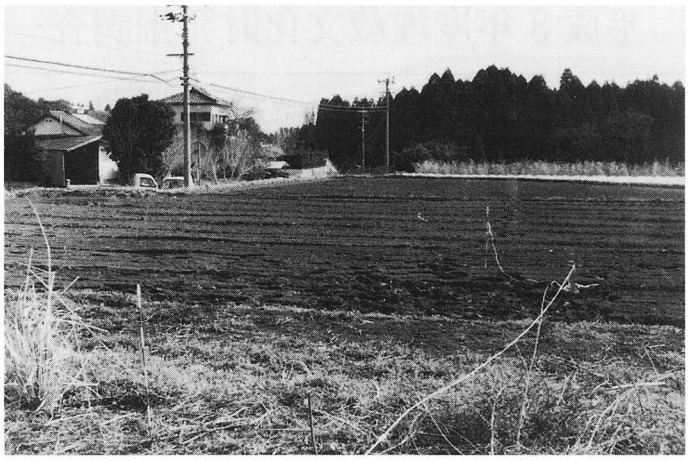
平成８年度埋蔵文化財発掘調査

市町村	佐土原町	調査主体	佐土原町教育委員会	調査担当者	木村明史・櫛間史朗
遺跡名	尾曲遺跡		所在地	佐土原町大字上田島（野久尾）	
調査原因	町道西野久尾船野線改良工事		調査面積	約1,200㎡（トレンチ面積128.6㎡）	
調査期間	平成９年３月７日～３月27日		調査後の処理	埋土	
遺跡の種別	集落		遺跡の主な時代	中世・近世	

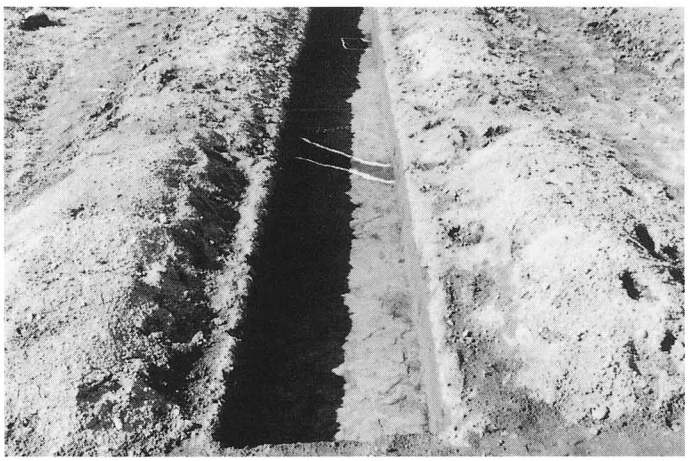
検出遺構	柱穴・溝状遺構
出土遺物	陶磁器片　２個 土器片　　３個 鉄片　　１個
特記事項	上位から耕土層・漸移層・生活層と形成される。トレンチＢのみ生活層の上位に火山灰層が明瞭に残る。これより下位の層は、河川の移動・汎濫により堆積したと思われる。出土遺物としては、トレンチ３・Ｇより１個づつの陶磁器が、トレンチ２より２個・トレンチＦより１個土器が出土、トレンチ５より鉄器が１個出土した。③層の生活層より柱穴や溝と思われる遺構が検出された。地形としては西側が東側より高くなっている。出土遺物が少ないということからも、中世・近世頃の小規模の村落が存在した可能性がある。

調査地

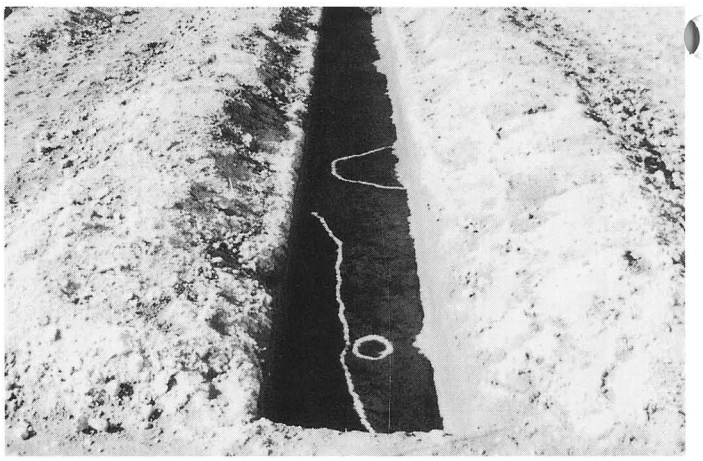




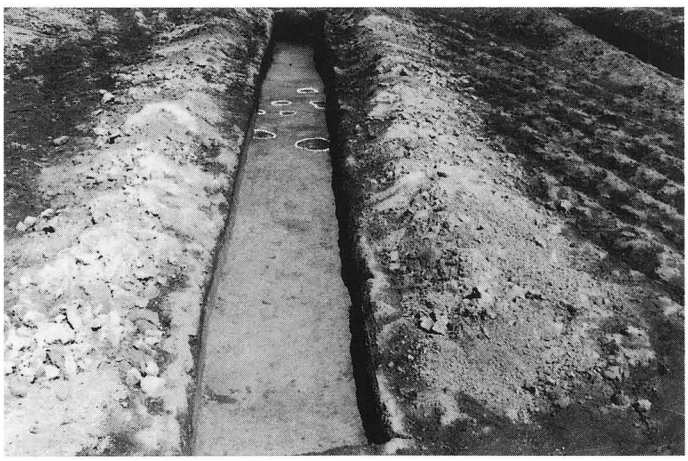
西方向より



トレンチ1



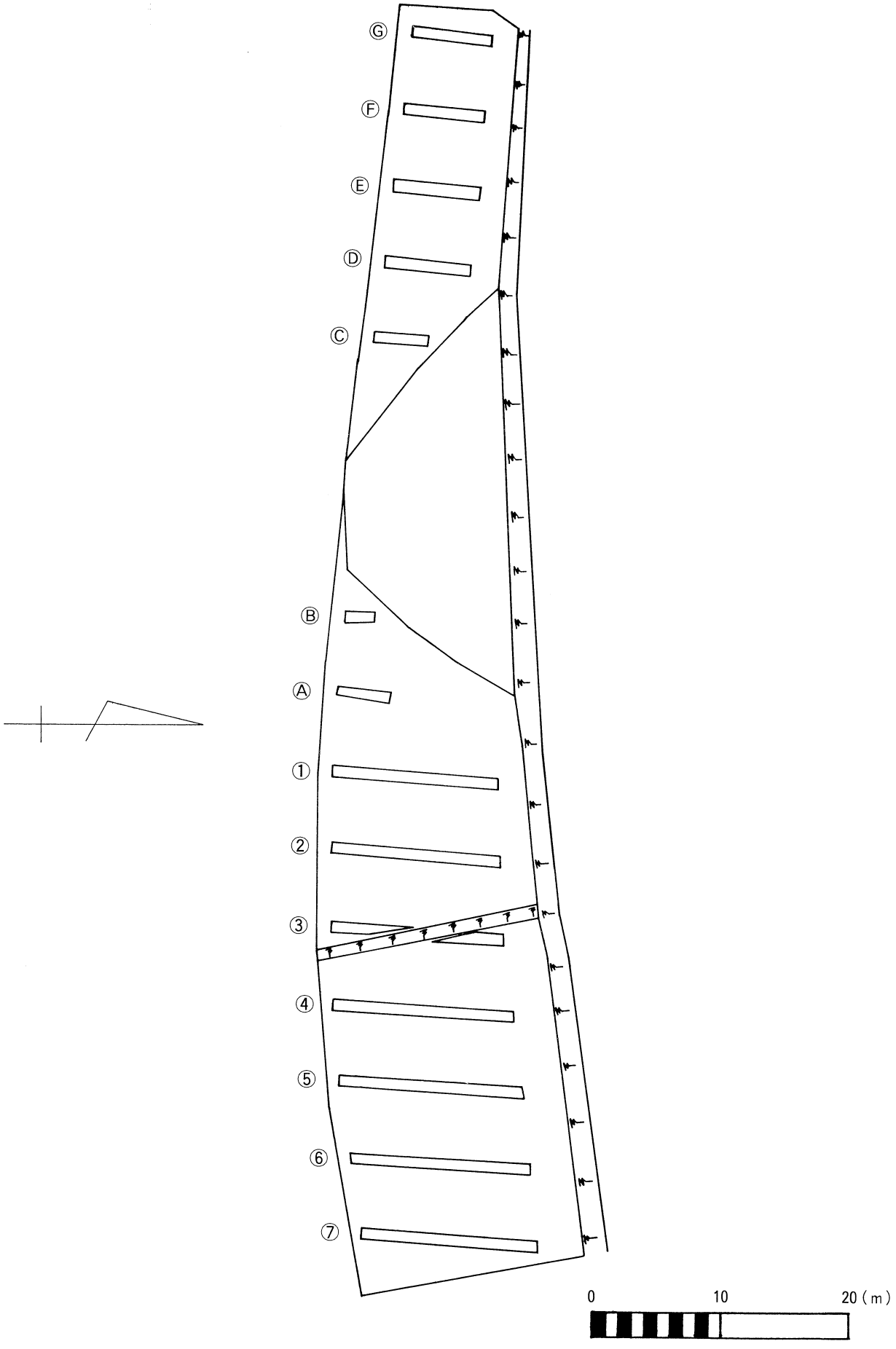
トレンチ2



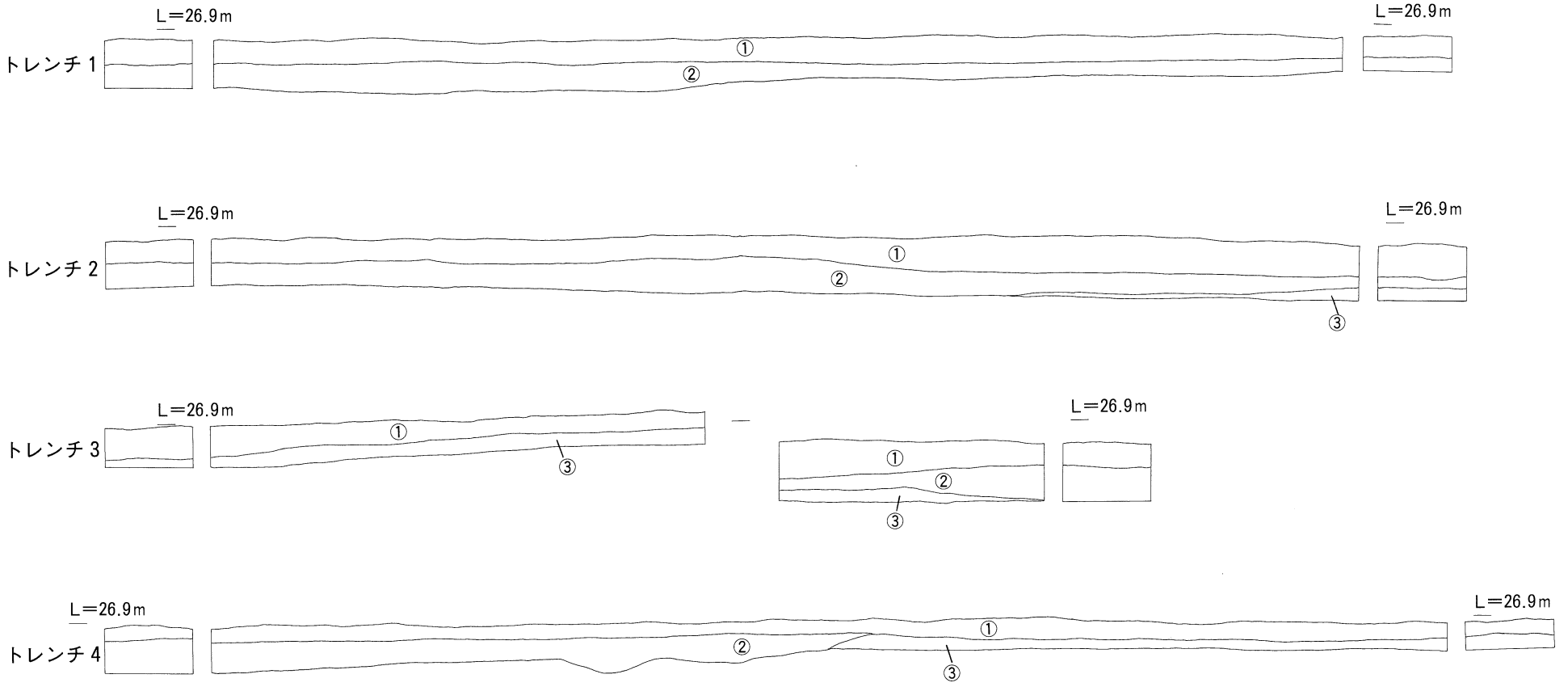
トレンチ6

トレンチ7

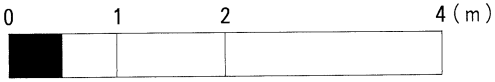
図版16　尾曲遺跡　全景写真・遺構写真



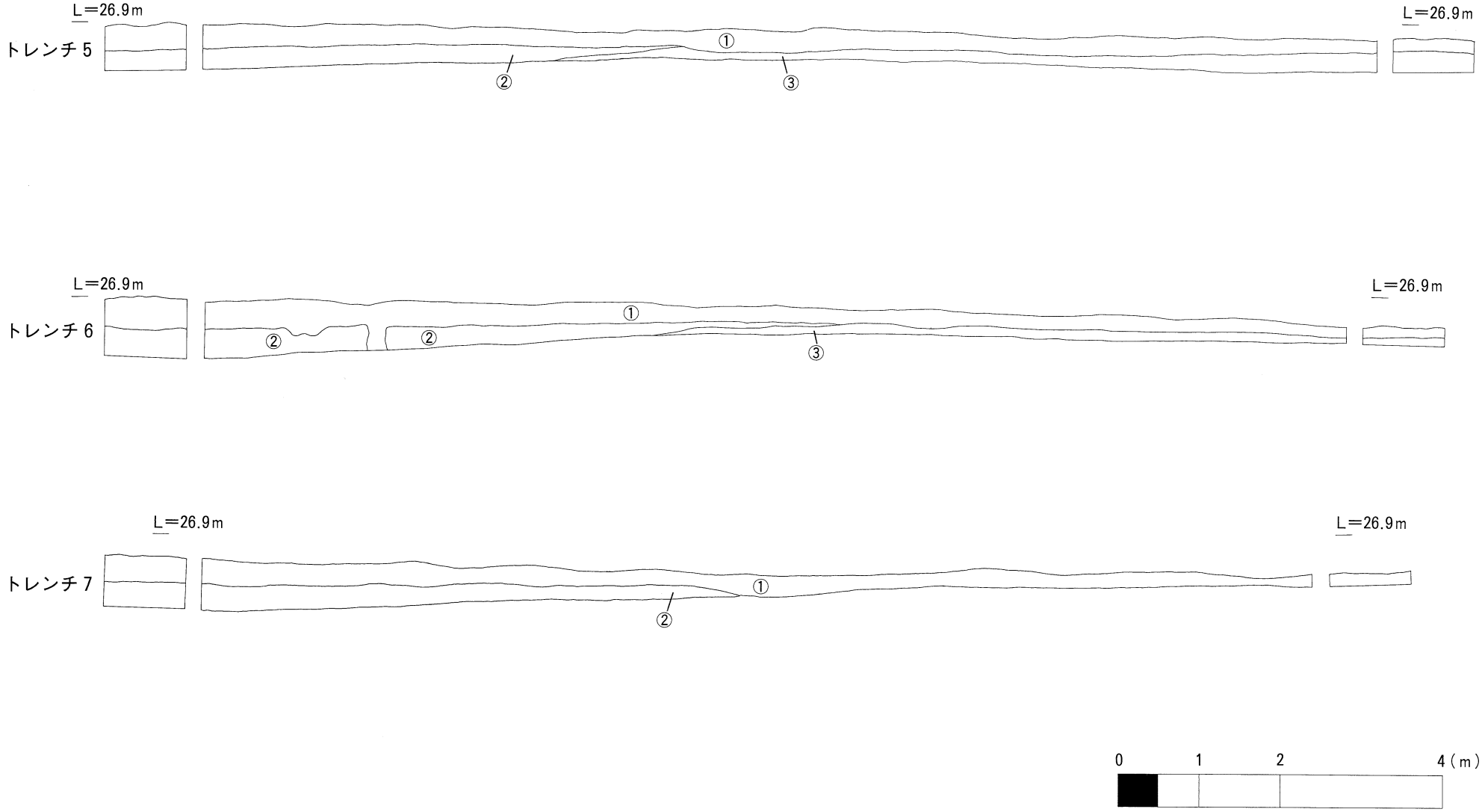
図版17　尾曲遺跡　遺構図



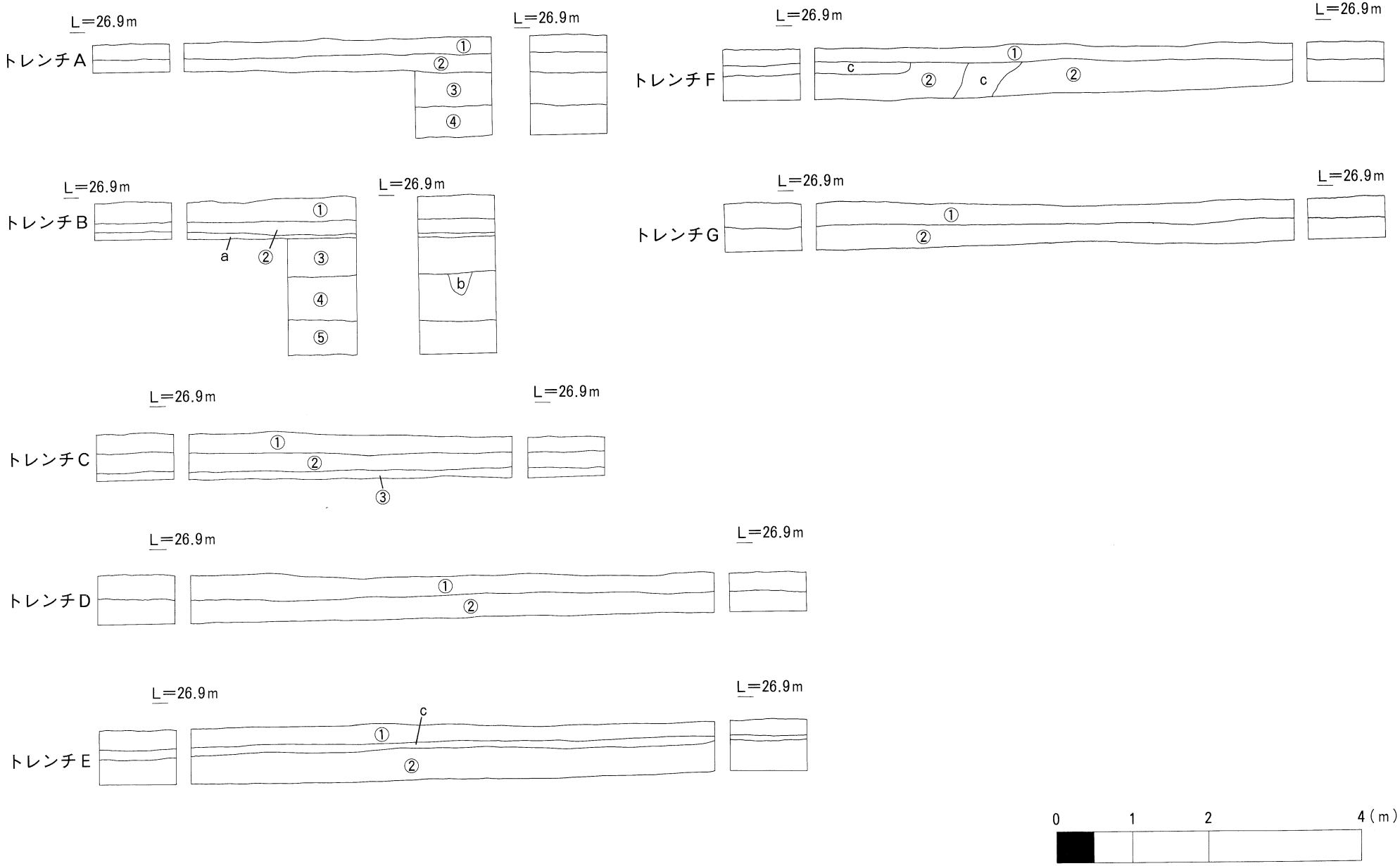
1 耕土層	10YR3／2	黒褐	現耕作面
2 漸移層	2.5YR3／1	暗赤灰	微高地より移動堆積
3 生活層	2.5Y8／8	黄	粘質層で砂質ブロックを１㎡／20％含む
4 自然堆積層	7.5Y7／1	灰白	砂質の層で河川の移動に伴い堆積
5 自然堆積層	2.5Y7／8	黄	洪水等の為上流土が堆積、河原石を検出
a 火山灰層	2.5YR6／8	橙	火山灰を含むトレンチＢのみ層として検出
b 堆積層	2.5YR2／1	黒	シルト質の層、溝状遺構の中に堆積
c 堆積層	2.5Y6／8	明黄褐	微高地より移動堆積、粘土質



図版18　尾曲遺跡　土層図



図版19　尾曲遺跡　土層図



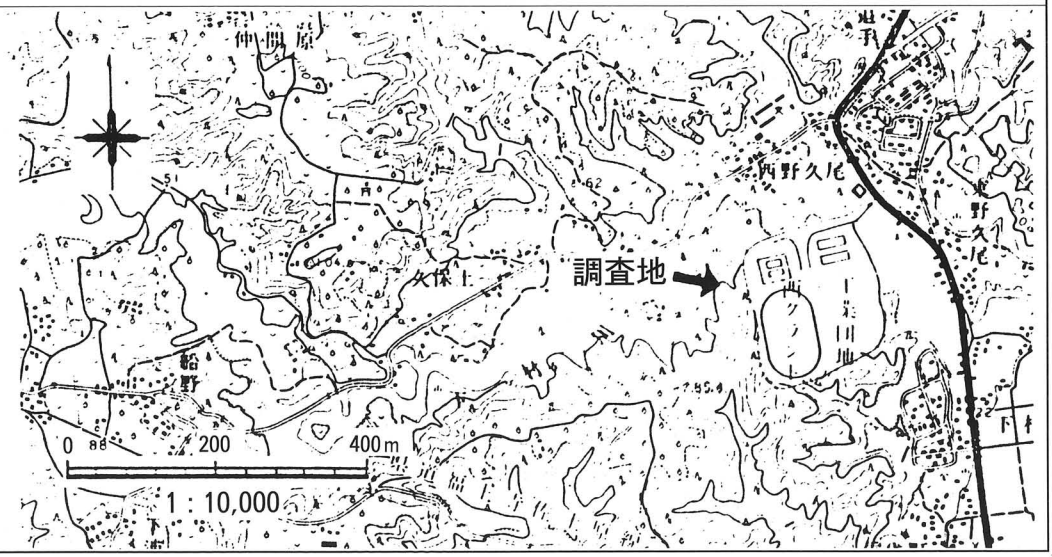
図版20　尾曲遺跡　土層図

平成９年度埋蔵文化財発掘調査

市町村	佐土原町	調査主体	佐土原町教育委員会	調査担当者	木村明史・櫛間史朗
遺跡名			所在地	佐土原町大字上田島（野久尾）	
調査原因	町道テクノリサーチパーク線建設に伴う事前調査		調査面積	約3,500㎡（トレンチ面積194.5㎡）	
調査期間	平成９年５月８日～６月13日		調査後の処理	消滅	
遺跡の種別	不明		遺跡の主な時代	不明	

検出遺構	炭化層
出土遺物	土器片
特記事項	本調査地は谷間の斜面にあり、等高線に垂直に計16本のトレンチを入れた。土層構成としては、表土層・粘土層・礫層となっている。ほとんどの地点で表土・粘土の２層より形成されており、トレンチ15・16でのみ明瞭に礫層が検出された。この２点は特に傾斜の急な場所であり、崩落等による堆積ではないかと思われる。（トレンチ15・16の斜面の下の方にある１・２でも一部礫層を検出）遺物はほとんど検出されず遺構堆積層は、トレンチ２でのみ厚さ５～10㎝程の黒色炭化層が検出された。

調査地



南方向より

東方向より

トレンチ１・２・３

トレンチ４

トレンチ５・６

トレンチ７・８・９

図版21　テクノリサーチパーク　全景写真・遺構写真

トレンチ10・11・12

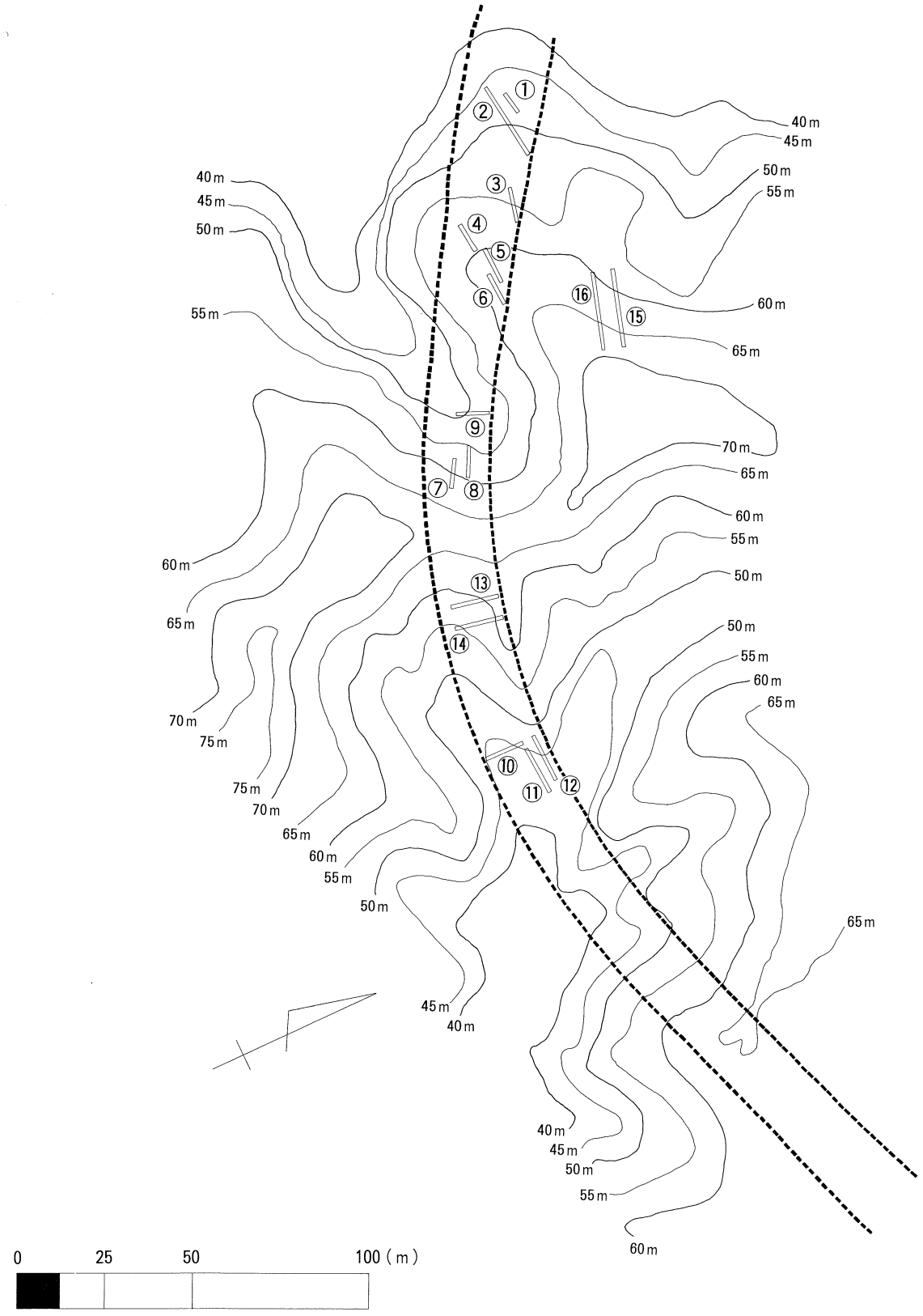
トレンチ13・14

トレンチ15

トレンチ16

トレンチ２・炭化層

図版22　テクノリサーチパーク　遺構写真



図版23　テクノリサーチパーク　遺構図

宮崎県佐土原町文化財調査報告書第11集

1998年３月

編集・発行

宮崎県宮崎郡佐土原町教育委員会

〒880-0211 宮崎県宮崎郡佐土原町大字下田島20660番地

TEL 0985-73-1111

印　　刷　㈲ 印刷センタークロダ

〒880-0022 宮崎市大橋２丁目175番地

TEL 0985-24-4351